

第12回 東備西播定住自立圏形成推進協議会 会議録

1 日 時 平成25年10月28日(月) 16:00～16:50

2 場 所 赤穂市役所 6階 大会議室

3 出席者

(1) 委 員 豆田 正明 赤穂市長
明石 元秀 赤穂市副市長
永安 弘 赤穂市議会議長
前川 弘文 赤穂市議会副議長
吉村 武司 備前市長
武内 清志 備前市副市長
尾川 直行 備前市議会議長
川淵 正行 備前市議会副議長
遠山 寛 上郡町長
衣笠 達也 上郡町副町長
橋本 正行 上郡町議会議長
小原 潤一 上郡町議会副議長

(2) 幹 事

赤穂市：高山市長公室長
備前市：藤原総合政策部長
上郡町：宮下企画財政課長

(3) 事務局及び各市町担当者

赤穂市：東南企画広報課長、澁江企画政策係長、宮本主査
備前市：中野企画政策課長、大西企画政策課係長
上郡町：小西企画財政課参事、井上企画政策係長

(4) 説明員

①教育施設部会：満重部会長（赤穂市スポーツ推進課長）
②給食部会：深澤部会長（上郡町学校教育課長）
③観光部会：永石部会長（赤穂市産業観光課長）
④農林商工部会：多田赤穂市農林水産係長（代理）
平野秘書・企業立地担当課長
⑤交通部会：平田部会長（備前市まちづくり課長）
⑥通信情報部会：沼田部会長（赤穂市情報政策担当課長）
⑦職員部会：藤本部会長（赤穂市人事課長）
⑧交流定住部会：(東南部会長)
⑨地域医療分野：矢野赤穂市民病院事務局長

4 会議の概要

(1) 開 会

(2) 会長あいさつ 豆田赤穂市長

(3) 報告事項

- ・平成24年度東備西播定住自立圏形成推進協議会事業報告について
- ・平成24年度東備西播定住自立圏形成推進協議会決算について

(4) 協議事項

- ・平成25年度東備西播定住自立圏形成推進協議会補正予算について

(5) その他

- ・東備西播定住自立圏共生ビジョン平成26年度見直し(案)について

(6) 閉会

5 議事の概要

事務局

定刻になりましたので、ただ今から、第12回東備西播定住自立圏形成推進協議会を開催いたします。本日の進行をさせていただきます、赤穂市市長公室長の高山です。よろしくお願いいたします。

議事に入ります前に、本日の会議に報道機関から、傍聴の申し出がございます。会議の傍聴につきましては、本協議会会議規程第2条で原則公開となっておりますが、出席委員の過半数の決定により非公開とすることができます。本日の議事内容は、お手元のとおりでありますので、会議の冒頭から傍聴を認めることとしたいと思えます。また、写真等の撮影希望があれば、会長あいさつまでとし、会議中の撮影、録音はできないこととしたい、と考えておりますが、ご異議ございませんか。

「異議なし」

異議なしというお言葉をいただきましたので、傍聴を認めるということで、傍聴の方にお入りいただきます。しばらくお待ちください。

(報道入室)

お待たせいたしました。

報道の方をお願いいたします。会議中の写真撮影等をご遠慮いただきますので、ただ今から、会長あいさつまでの間のみ、写真撮影を認めたいと思えます。必要な方は、この時間をお願いいたします。

(撮影)・・・よろしいでしょうか。

それでは、開会にあたりまして、会長であります、赤穂市豆田市長よりごあいさつを申し上げます。

豆田会長

本日は、お忙しい中、第12回東備西播定住自立圏形成推進協議会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。

本年3月以来の開催となり、この間、備前市長選挙、上郡町長選挙、各議会の役員改選等によりまして、本日、7名の新たな委員に出席をいただいております。新委員におかれましては、今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、東備西播定住自立圏事業につきましては、平成22年度より具体的な事業に取り組んでまいりましたが、来年の26年度は5年目の区切りの年、また27年度からの新たなビジョン策定に向けて検討を要する年となっております。

圏域全体の魅力の向上と、活力ある地域を作るため、委員の皆様には、それぞれのお立場でご尽力をいただいているところでございますが、今後も圏域事業への更なるご理解とご協力をいただきたいと思います。と存じます。

本日は、24年度決算並びに事業の実施状況についてご報告いたしますとともに、先日、本格運行が承認されました、圏域バスの補正予算、並びに25年度の上半期における事業の進捗状況をご説明申し上げたうえで、来年度の共生ビジョンの見直し案について、ご協議をいただきたいと存じます。

委員の皆様におかれましては、忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げます。簡単ではありますが、開会のあいさつとさせていただきます。

事務局

報道機関の方、以上で撮影の時間を終了いたします。

議事に入ります前に、会長の挨拶にもありましたとおり、新たに7名の方に委員としてご出席をいただいております。

新委員の皆様から一言ずつ自己紹介をお願いしたいと存じます。

まず、備前市長 吉村 武司 様

次に、上郡町長 遠山 寛 様

次に、上郡町副町長 衣笠 達也 様

次に、上郡町議会議長 橋本 正行 様

次に、上郡町議会副議長 小原 潤一 様

次に、赤穂市議会議長 永安 弘 様

次に、赤穂市議会副議長 前川 弘文 様

ありがとうございました。なお、お手元に委員名簿並びに部会別役割分担表を配布しておりますので、後ほどご覧ください。

それでは会長、議事進行をお願いいたします。

豆田会長

それではお手元の資料に基づきまして、議事進行を務めさせていただきます。

まず、3の報告事項に入ります。

1の平成24年度東備西播定住自立圏形成推進協議会事業報告、及び2の平成24年度東備西播定住自立圏形成推進協議会歳入歳出決算について、それぞれ関連がありますので一括して報告いたします。

事務局、説明願います。

事務局

それでは、平成24年度東備西播定住自立圏形成推進協議会事業報告及び決算について、説明いたします。

議案書1ページをお願いいたします。平成24年度事業報告についてであります。

まず、1の東備西播定住自立圏形成推進協議会の開催状況についてであります。平成24年10月30日に第10回協議会を開催し、23年度決算、及び共生ビジョン25年度見直し(案)について、ご協議をいただきました。次に、3月14日に第11回協議会を開催し、共生ビジョン第3回変更についての報告と25年度予算について、ご協議いただきました。

次に、2 事業報告について説明いたします。事業内容につきまして、別添の平成24年度事業報告書をお願いします。1ページ、地域医療の連携として2事業を行いました。まず、医療連携研究会事業として、病院、介護施設職員を対象にメンタルヘルスの研修を4回実施し、また2ページですが、がん検診と予防をテーマに講演会を開催いたしました。事業費は67万6,235円でした。また、医療情報研究会事業は、城西大学の伊関友伸教授を招き、地域医療 再生への処方箋をテーマに講演会を開催しました。事業費は29万9,443円でした。それぞれの実施日、参加者数等は、掲記のとおりです。

続きまして、3ページ、生涯学習の推進として、巡回展開催事業をはじめ、7事業を行いました。まず、巡回展開催事業ですが、3市町の埋蔵文化財を巡回展示する事業として、24年度は、備前焼 変容する伝統をテーマに開催し、事業費は46万5,603円で、各市町での開催日、入館者数、出展数等はそれぞれ掲記のとおりです。

次に、4ページをお願いします。指定文化財・文化施設等巡りツアー事業ですが、10月6日、3市町の文化財や文化施設等を巡るツアーを実施し、93の方が参加され、事業費は46万円でした。続いてチャレンジデー開催事業ですが、3市町対抗により、1日15分以上運動をした住民の参加率を競う事業を実施しました。事業費は60万円で、参加率等、結果につきましては、掲記のとおりです。

次に5ページ、図書館相互利用推進事業ですが、23年4月より、3市町の公立図書館と関西福祉大学図書館の相互利用を開始し、各図書館における登録状況は掲記のとおりです。事業費はかかっておりません。

次に、文化・スポーツ交流事業ですが、事業費はゼロですが、3市町スポーツ推進委員の情報交換会をはじめ、スポーツ交流事業を実施しました。

続いて6ページ、文化・スポーツ施設相互利用促進事業ですが、3市町の文化・スポーツ施設の使用料金格差をなくし、お互いが利用しやすくするため、条例等の改正を行い、23年4月1日より利用を開始しました。

次に7ページ、赤穂市文化会館整備事業ですが、事業費は赤穂市の負担により、掲記の内容で文化会館の整備を行いました。

続いて8ページ、上郡町学校給食施設整備事業ですが、事業費は上郡町の負担により、上郡町学校給食施設の整備を行いました。

次に9ページ、産業振興としまして、地域ブランド発掘事業はじめ、4事業を行いました。まず、地域ブランド発掘事業ですが、農商工連携セミナーをはじめ、各市町へのイベントに出店、展示商談会への出展や新製品の開発、販路拡大の取り組みの補助を行いました。事業費は34万3,600円でした。

次に10ページ、有害鳥獣対策事業ですが、ヌートリア捕獲用わなの共同購入や有害鳥獣捕獲活動用資材を購入いたしました。事業費は、59万5,410円です。

11ページ、企業誘致促進事業は昨年度に続き、インテックス大阪で行われました、第15回関西機械要素技術展に3市町合同で出展し、企業立地に関するアンケートや工業用地・観光パンフレット等の配布を行い、PRを行いました。また、アンケート情報をもとに工場立地検討中の企業を訪問し産業用地の紹介を行いました。事業費は184万1,232円です。

12ページ、観光振興推進事業ですが、圏域全体の広域的な観光振興を図るため、3市町を巡る観光ルートなどを紹介した観光情報誌るるぶ地域版を近畿・中国・四国のJTB支店や提携施設に、217箇所、4,000部を配布いたしました。事業費は56万3,104円です。

続きまして13ページ、地域公共交通の関係ですが、圏域運行バス調査・検証事業として、2月27日に上郡ルート、3月5日に備前ルートの2ルートにより、圏域バスの運行を開始し、平成24年度は、4月から、3月まで1年間試験運行を実施いたしました。25年3月末現在の利用者総数等は、掲記のとおりでございます。事業費は、1,813万6,620円でした。

次に14ページ、JR利便性向上事業ですが、JR山陽本線と赤穂線の利便性向上を図るため、兵庫・岡山両県境協議会の要望と合わせて、JR西日本岡山支社及び神戸支社に対し、要望を行いました。事業費は4万9,640円です。

続いて15ページ、ICTインフラ整備の関係のうち、まず地域情報活性化事業ですが、地域SNSの使用料として、185万2,200円の事業費です。

また圏域ホームページ作成事業ですが、新たに東備西播定住自立圏ポータルサイト「東備西播ともりんく」を構築しました。事業費は237万8,250円です。

次に17ページ、地域内外の住民との交流・移住促進の関係ですが、まず民間イベント等助成事業であります。平成24年度は13団体の応募がございました。圏域内外の住民交流の促進と賑わいを創出する事業として、18ページに記載をしております13団体のイベントに対し補助を行いました。事業費は201万3,940円でした。

続いて19ページ、赤穂国際音楽祭開催助成事業は、10月5日から6日まで赤穂で開催された音楽祭のうち、10月5日のコンサートに定住自立圏枠を設け備前市、上郡町住民の方を限定に募集を行い、102名分の席の申込みをいただくとともに、送迎バスを運行いたしました。事業費は、80万円です。

続いて20ページ、定住相談会開催等事業ですが、3市町合同により定住相談会

を東京、大阪、神戸の3会場で行いました。事業費は165万1,898円でした。次に21ページ、圏域内の職員等の交流ですが、3市町の職員研修として、各市町2名、合計6名の職員により、定住自立圏先進地であります高知県四万十市、香川県丸亀市への視察研修を行いました。また、3市町の職員合同研修として報告会を実施し、事業費は、11万9,863円でした。

また22ページ、職員研修参加交流事業として、赤穂市、上郡町で行われた職員研修に、それぞれ他市町からの職員も参加し職員間の交流を図っております。その下、人事労務担当職員研究会事業は、上郡町役場で担当職員の研究会を開催して、意見交換を行っております。

23ページ専門家招へい事業につきましては、8月31日に、赤穂市文化会館で総務省自治大学校、自治研修協会、兵庫・岡山両県境隣接市町村地域振興協議会との共催で、4名の講師を招聘し、協働による地域づくりをテーマに、特別講演会を開催いたしました。事業費は、12万6,700円です。次の職員交流(派遣)事業ですが、備前市で開催された「おかやまご当地グルメフェスタin備前」に、赤穂市及び上郡町から職員を派遣いたしております。

以上が平成24年度の事業報告であります。

引き続き、元の議案書に戻っていただき、2ページをお願いします。24年度歳入歳出決算についてであります。上段には、決算額の集計を一覧にしています。

歳入総額は4,569万7,149円、歳出総額は3,557万7,056円で、差引残額は1,012万93円となりました。残額の1,012万93円につきましては、平成25年度へ繰越させていただきました。

それでは、歳入、歳出別に説明させていただきます。先に3ページ歳出をお願いします。

まず、1款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費は、臨時職員に係ります共済費や賃金など主に事務局運営経費で、260万3,318円を執行しました。続いて、2款事業費、1項事業費、1目活動事業費は、内容としましては、先程、事業報告でご説明申し上げましたとおりであります。執行額は、合計で3,297万3,738円でした。予算の流用につきましては、先ほど事業報告で説明いたしました、専門家招聘事業、8月に開催の特別講演会を、当初予定していなかったため、職員研修事業から、流用させていただいたものでございます。報償費、旅費、需用費、使用料で流用させていただきました。また、委託料の流用につきましては、地域情報活性化事業の地域SNSのシステムを使用するための経費ですが、運営会社のアウトソーシングサービスを使用するというので、当初委託料で予算を組んでいたものから、使用料へ組み換えを行ったものです。3款予備費の充用はゼロで、結果、歳出総額は3,557万7,056円であります。

続きまして、歳入をお願いします。2ページをお願いします。

まず、分担金及び負担金ですが、備前市から3,550万円を収入しております。また前年度繰越金として、10,18万6,404円を収入し、また諸収入、雑入として、1万745円を収入しております。結果、歳入総額は、4,569万7,149円です。

平成24年度事業報告及び決算についての説明は以上であります。

豆田会長 事務局の説明は終わりましたが、あわせて決算審査報告を、監事の備前市尾川委員からお願いしたいと思います。

尾川監事 監事を代表いたしまして、決算審査報告をいたします。

東備西播定住自立圏形成推進協議会規約第9条第2項の規定に基づき、平成24年度東備西播定住自立圏形成推進協議会会計について、会計監査を実施しました。

監査の日時及び場所は、平成25年5月15日午前10時から上郡町役場、及び午後1時30分から備前市役所で行いました。

監査の結果、平成24年度東備西播定住自立圏形成推進協議会会計にかかる出納その他附属書類について、諸帳簿等が適正かつ正確に処理されていることを認めましたので、ご報告いたします。

以上、決算審査報告を終わります。

豆田会長

ありがとうございました。

決算に関する説明は終わりました。以上の報告事項について質問等ありますか。

特にないようですので、4の協議事項に入ります。第16号議案 平成25年度東備西播定住自立圏形成推進協議会補正予算について、であります。

事務局、説明願います。

事務局

それでは、議案書の5ページをお開きください。第16号議案、平成25年度東備西播定住自立圏形成推進協議会補正予算ですが、歳出予算の補正でございます。第1条、歳出予算の補正金額は別紙、平成25年度東備西播定住自立圏形成推進協議会補正予算によるものとしております。

6ページをご覧ください。圏域運行バス調査・検証事業でございますが、当初圏域バスの運行を12月から開始する予定で予算を組んでおりましたが、本格運行に向けての検討、協議の上、7月に圏域バスの検討会議で本格運行の承認をいただき、平成26年3月の本格運行に向けて、現在準備を進めているところでございます。今回の補正につきましては、当初の12月本格運行開始予定が、翌年3月の本格運行開始に変更になったことに伴い、12月から3月まで本格運行分として予算化しておりました補助金の一部を減額し、現在実証運行しております運行の委託料に組み替えるものでございます。以上です。

豆田会長

事務局の説明は終わりましたが、ただ今の議案について何か質問等ありますか。

特にないようですので、平成25年度東備西播定住自立圏形成推進協議会補正予算につきまして、原案のとおり可決することで、ご異議ございませんか。

「異議なし」

それでは、平成25年度東備西播定住自立圏形成推進協議会補正予算につきましては、可決いたします。

次に5のその他に入ります。1の東備西播定住自立圏共生ビジョン平成26年度見直し案について、事務局説明願います。

事務局

それでは平成26年度共生ビジョン見直し案について、説明いたします。これにつきましては、本年度上半期の事業進捗状況と関連がありますので、まずそちらから説明いたします。別冊の平成25年度上半期事業報告書をご覧ください。

まず1ページですが、医療部門についてであります。医療連携研究会事業ですが、上半期における事業は行っておりませんが、今後の予定として、12月18日午後6時30分から、徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 濱田康弘特任教授による講演を行います。2ページをご覧ください。医療情報研究会事業であります。こちらも現在未実施であり、前段の医療連携研究会事業を受け、今後開催を検討するものでございます。続きまして圏域住民診療支援事業であります。上半期につきましては、備前市9件 342,000円、上郡町4件 216,000円、合計14件 558,000円でございます。

続きまして3ページ、教育部門についてであります。指定文化財・文化施設等巡りツアー事業であります。事業といたしましては実施予定であります。詳細については現在未定となっております。4ページをご覧ください。図書館相互利用事業についてでございます。平成23年度より圏域内の図書館の相互利用を図るものですが、各図書館の上半期の登録状況につきましては、掲記のとおりとなっております。続きまして、文化・スポーツ交流事業でございます。実施状況といたしましては、5月21日と6月7日に2市1町スポーツ推進委員情報交換会を実施しております。今後は、11月10日に第3回赤穂シティマラソン大会において2市1町のスポーツ推進委員が競技役員として参加、1月25日に2市1町スポーツ推進委員の実技研修及びスポーツ交流会を実施予定でございます。5ページをご覧ください。文化・スポーツ施設相互利用促進事業でございます。圏域内の文化・スポーツ施設について、3市町の住民が同じ条件で利用できるように関係条例を改正しております。広域利用対象施設としては、掲記のとおりでございます。6ページをご覧ください。トップアスリート等招聘事業でございます。実施状況といたしましては、5月30日に担当者会議を実施しております。8月11日に野球イベントを上郡町スポーツセンター野球場で実施、10月26日に卓球イベントを赤穂市民総合体育館で実施しております。また12月8日にソフトボールイベントを備前市吉永B&G海洋センターで実施予定でございます。次に7ページであります。中学校吹奏楽部交流助成事業でございます。実施状況といたしましては、10月26日に上郡町生涯学習支援センターにおきまして、2市1町の中学校吹奏楽部とプロのミュージシャンがコラボレーションし、交流音楽会を実施しております。続きまして、赤穂市文化会館整備事業でございます。平成23年度からホールの改修事業を行っておりますが、平成25年度につきましては、大ホール及び小ホール照明設備の改修を行っております。8ページをご覧ください。備前市生涯学習施設整備事業でございます。実施状況といたしましては、平成26年1月に日生市民会館の外壁改修工事を実施予定でございます。続きまして、9ページでございます。上郡町学校給食施設整備事業でございます。実施状況につきましては、平成25年4月に上郡町給食管理システム整備に関する技術支援を行い、8月21日に上郡町学校給食センターが竣工し、9月より供用開始となっております。10ページをご覧ください。産業振興部門でございます。地域ブランド発掘事業ですが、実施内容といたしましては、上郡町観光案内所が実施する新特産品PRパンフレット作成事業に対し支援をするものでございます。今後の予定としては、各市町におけるイベント等への出店支援、農商工連携セミナーの開催、地域ブランド発掘事業支援を実施予定です。次に11ページをご覧ください。観光振興推進事業でございます。実施内容といたしましては、2市1町の合同観光ポスターを作成いたしました。デザインといたしましては、赤穂市のA、上郡町のK、備前市のBの頭文字を掲載し、3枚を並べますとAKBとなります。B1、B2サイズを各1500枚ずつ作成いたしております。続きまして12ページでございます。有害鳥獣対策事業であります。実施内容としましては、ヌートリア捕獲用わなを10基購入、有害鳥獣捕獲活動用資材の購入を行っております。今後につきましても各市町の猟友会への現物支給などの支援を行っていくものでございます。13ページでございます。企業誘致促進事業でございます。10月2日～4日にインテックス大阪にて第16回関西機械要素技術展へ出展を行っております。14ページをご覧ください。地域公共交通部門でございます。圏域運行バス調査・検証事業でございます。平成24年2月から上郡ルート、翌3月から備前ルートの圏域バスの実証運行を行っておりますが、本年7月26日に第3回圏域バス検討会議を開催し、運行実績を検証した結果、本格運行を承認いたしましたところでございます。運行基準の結果といたしましては、1つめ、市町域を超える利用者が1便当たり1人以上に対し、15ページ上部が平成25年9月末までの実績表となっております。総括の一番下の右の数値2.3人でございます。また2

つめの1日当たりのバス総利用者数が16人以上に対し、同じく総括の一番下の真ん中の数値31.8人でございます。次に、JR利便性向上事業でございます。実施内容といたしましては、JRへの要望会を兵庫・岡山両県境隣接市町村振興協議会、兵庫県、岡山県で実施いたします。JR西日本の岡山支社、神戸支社へ要望会を実施予定であります。

16ページをご覧ください。地域情報活性化事業でございます。昨年11月より地域ポータルサイト「ともりんく」を開設し、本年3月末に協議会事務局用SNSサービスを停止いたしました。また9月2日に「ともりんく」と2市1町の公式ホームページとのデータ連携を開始し、圏域ポータルサイトの更なる利活用を図りました。

続きまして、17ページでございます。民間イベント等助成事業でございます。平成25年度につきましては、圏域内で13団体の応募があり、4月21日開催の公開審査会により13団体への支援を決定したところでございます。詳細につきましては18ページに記載しております。続きまして、19ページでございます。赤穂国際音楽祭開催助成事業でございます。姫路市と共同開催しましたル・ポン2013を10月4日～8日で赤穂会場として開催いたしました。そのうち定住自立圏チケットを200席分確保し、備前市民及び上郡町民向けに販売いたしました。実績としましては97席となりました。また、チケット購入者へ備前市役所、日生支所及び上郡町役場を発着とする送迎バスを運行いたしました。続きまして、こどもと学生のふれあい活動支援事業でございます。実施状況といたしまして、8月の夏休み期間中に2市1町で掲記のとおりそれぞれ実施いたしております。続きまして、20ページをご覧ください。定住相談会開催等事業でございます。実施状況といたしましては、ふるさと回帰フェア2013の東京及び大阪会場に2市1町で参加したところでございます。今後の予定としまして、平成26年3月に神戸国際会館にて相談会を実施予定であります。

21ページをご覧ください。職員研修事業でございます。今後圏域内の共通課題をテーマとした他の定住自立圏域等への視察を行い、その報告会を各市町職員の集合研修として実施する予定であります。

22ページをご覧ください。職員研修参加交流事業でございます。実施状況といたしましては、7月25日に人権啓発研修を、8月7日に交通安全研修を、それぞれ赤穂市役所で実施しております。また10月16～17日に接遇研修を赤穂市役所で実施したところでございます。続きまして、人事労務担当職員研究会（交流）事業でございます。11月29日に、赤穂市役所で2市1町人事労務担当職員研究会の開催を予定しており、各市町の課題となっている事項等につきまして情報交換を行うこととしております。次に、23ページの専門家招へい事業でございます。実施状況といたしまして、8月26日に赤穂市文化会館ハーモニーホールにて、掲記のとおり講演会及び意見交換会を実施しております。続きまして、職員交流（派遣）事業でございます。こちらは、イベント等における職員の相互派遣交流の実施につきまして、11月29日開催予定の2市1町人事労務担当職員研究会において検討する予定でございます。

平成25年度上半期事業報告については、以上でございます。

続きまして、事業進捗状況及び協議状況を踏まえまして、来年度に向けた共生ビジョンの見直し案を説明いたします。お手元の議案書の7ページをご覧ください。

生涯学習の推進としまして、新規事業として上郡町生涯学習施設整備事業です。事業内容としては、上郡町生涯学習支援センターは、圏域市町間における図書館相互利用推進事業をはじめ、各種圏域事業による圏域住民の文化振興、住民交流等を促進する場として重要な役割を果たす拠点施設であるが、経年劣化に伴う施設の改修の必要性があるため、施設及び設備等の整備を行うものでございます。効果とい

たしまして、圏域住民の交流・利用に必要な施設の充実を行い、図書館相互利用事業の推進をはじめとする圏域住民の生涯学習機会の充実、文化振興及び住民交流の促進を図るものがございます。事業費としまして、平成26年度上郡町生涯学習センターの工事費として4,400万円を計上しております。内訳としては、屋根・外壁の経年劣化による改修工事を実施します。活用する補助制度等としまして、地域活性化事業債を利用する予定です。また、経費については、上郡町が負担し、整備するものです。関係市町は、図書館相互利用推進事業のほか、圏域形成を推進する文化振興、住民交流事業を協力して実施します。

続きまして、8ページです。地域公共交通ネットワークの構築としまして、圏域運行バス調査・検証事業でございますが、圏域バスにつきましては、去る7月26日に開催しました、第3回東備西播定住自立圏圏域バス検討会議におきまして、平成26年3月より本格運行が決定いたしました。これを受けまして、平成26年度につきましては、これまでの試験運行実施のための事業を本格運行のための事業といたしたく、掲記の変更をするものがございます。まず事業名につきましては、圏域運行バス調査・検証事業を圏域バス運行事業とし、また、事業内容につきましては、圏域内において関係市町間を結ぶ公共交通ネットワークを構築するため、圏域運行バスの導入に向けて、住民ニーズ、バスの利用実態及び費用対効果等を分析・調査する、を圏域内において関係市町間を結ぶ公共交通ネットワークを構築するため、圏域バスを運行する、といたします。なお、効果、事業費につきましては変更ございません。以上です。

豆田会長 事務局の説明は終わりました。本年度の事業実施内容、及び共生ビジョンの変更案について、何か質問等ございますか。

尾川委員 まず、各事業の検証を各担当者においてお願いしたい、ということが1点です。また、JRの利便性向上事業ということで来年の3月に要望会を予定ということですが、もう少し頻繁に行っていただくようお願いします。もう1点は、整備済みの文化会館・生涯学習施設等を活用できるような事業を考えていただきたいと思えます。それから、公共施設の老朽化ということで、定住自立圏の事業になるかわかりませんが、対策を要望したいと思えます。

事務局 事業の検証につきましては、事業開始から来年で5年が経過しますので、新たに見直しをする際に、各部会や幹事会でやりたいと考えております。

JRにつきましては、兵庫・岡山県境協議会で合同で実施しているため、複数回の要望は難しいと考えておりますが、要望会の中で積極的に行ってまいります。

豆田会長 JRへの要望につきましては、毎回同じような内容でまいります。乗客が減る中、なかなか良い回答をいただけません。何回も行くというよりは、相手が納得するような理屈を持っていく必要があると考えます。両県にも力を入れていただいておりますが、継続して要望することが必要だと思えますので、事務局で対応してほしいと思えます。

他にございませんか。

ないようですので、本日いただいたご意見を踏まえ、ビジョン変更案を作成するというところでよろしいですか。

「異議なし」

それでは、そのように決めます。次に、2のその他ですが事務局から何かありますか。

事務局

本日の結果を踏まえまして、11月に開催予定のビジョン懇談会、また総務省との協議などを経まして、ビジョンの見直しを行っていきたいと考えております。来年度の事業費につきましては、各部会で予算編成の必要がありますので、事業費の見直しを含めた来年度の共生ビジョンの策定は年明けになる予定です。従いまして次回の日程は、事務局で調整をし、改めてお知らせしたいと思います。

豆田会長

他に何かありましたらお願いします。

ないようですので、本日はこれで終了したいと思います。ありがとうございました。

了

(16時50分)